



大会概要

2025年 SUPER GTシリーズ 第6戦

大会名称

2025 AUTOBACS SUPER GT Round 6 SUGO GT 300 Hours RACE

開催日時

9月20日 土曜（予選） 9月21日 日曜（決勝）

開催サーキット

スポーツランドSUGO（1周：3.621km）

所在地：宮城県柴田郡村田町菅生6-1

同時開催レース

2024年FIA-F4選手権シリーズ第8戦・第9戦

主催

株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ（SRSC）/株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟（FIA）/ 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省／国土交通省／自由民主党モータースポーツ振興議員連盟／公益法人宮城県観光連盟／河北新聞社／村田長／名取市／大河原町／柴田町／蔵王町／川崎町／岩沼市観光物産協会



◆ チーム体制

- チーム名 VELOREX
- 車両名 UNI-ROBO BLUEGRASS
FERRARI 296 GT3
- カーナンバー 6
- タイヤ 横浜ゴム株式会社
- ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

- エントラント代表 古場 博之
- チーム監督 小倉 啓悟
- スタッフ
 - チーフエンジニア Mattia Oselladore
 - チーフメカニック 片岡 恵人
 - 広報兼マネージャー 宅間 美帆
 - レースアンバサダー ENA、YUYU (VELOREX アンバサダー)
 - 新堂まみ、市原 薫
(UNI-ROBO アンバサダー from Pacific)
 - 城戸ひなの (TONE モタスポ サポートギャルズ)

■ スポンサー

- | | | |
|---------------------|-------------------|--------------|
| アスカ株式会社 | 青山エレベーター株式会社 | 愛知電線株式会社 |
| 株式会社C I S | 医療法人社団ヒロデンタルクリニック | 笹原金型株式会社 |
| O I R C | カトー機械株式会社 | 有限会社大和工業 |
| T O N E 株式会社 | 株式会社ジョイフル設備 | 株式会社エイチアンドエフ |
| ニチアス株式会社 | 株式会社アート買取協会 | 大成土木株式会社 |
| 学校法人高岡学園 高新自動車学校 | 株式会社デジテックエイチピー | 株式会社E A S T |
| ザーレン・コーポレーション株式会社 | 朝日金属株式会社 | 株式会社P O O L |
| D O B O T ジャパン株式会社 | 株式会社マイティミズタニ | |
| エバー株式会社 | 城東電機株式会社 | |
| 株式会社コスモ開発 | サンディスク株式会社 | |
| 岡田金属株式会社 | 有限責任中部総合監査法人 | |
| 株式会社ソフト99オートサービス | ARMS株式会社 | |
| M I D T O W N B B Q | 見田工作株式会社 | |

◆ 予 選

天候	晴れ
コース状況	ドライ
気温	20℃ (GT300クラスQ1開始時)
路面温度	26℃ (GT300クラス予選開始時)
予選開始	14時05分 (GT300クラスQ1-A組開始)



Team LeMansは本年度より正式にエントラント名をVELOREX とし、昨年に引き続き、FERRARI 296 GT3を投入してSUPER GT GT300クラスに参戦する。同クラス参戦5年目となる今シーズンは、昨年に引き続きマシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを継続起用。チーム体制も継続し、2024シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。

今シーズンのSUPER GTでは予選方式が2023年までのノックアウト方式に戻されることとなった。GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組にわけられ10分間の予選Q1が実施されるのは以前と変わらないが、予選Q2へは各組それぞれ1台ずつ増加し、それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。つまり以前よりエキサイティングな予選Q2が観られることとなった。予選順位はQ2のタイム順で決定される。

またGT300クラスは28台が参加する激戦となるため、ポイントシステムも変更され、ポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

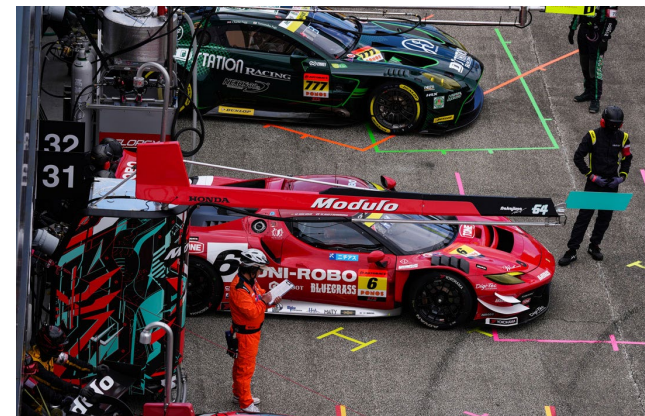
予選結果：12位 (予選Q1:8位 片山選手：1分18秒156／予選Q2:12位 ロベルト選手：1分18秒252)

予選日の20日は朝のウォームアップ時には雨が残り、ウェットからドライへと変わるコンディション。9時15分からSUPER GT第6戦の公式練習がスタートした。天候が不安定ではあるが、予選に向けてマシンのバランスチェックをしつつ、終盤にスリックタイヤを投入してロベルトが1分18秒734で7番手タイムをマークし、まずまずの手応えを得た。しかし両ドライバーは強いアンダーステアを訴えたので、予選に向けてセットアップを変更した。予選は14時05分から始まり、UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループAに片山が出走。公式練習から大幅にセットアップを変更し、オーバーが強く出たが3周目に1分18秒156をマーク。グループAの8番手タイムでQ2) への進出を決める。

14時58分からのQ2では、ロベルトが3周目に12番手となる1分18秒252をマーク。短いインターバルで更にセットアップを修正したが、逆にアンダーステアが強くなってしまい、このタイムが精一杯だった。決勝は12番手、6列目からのスタートとなった。

◆ 決 勝

天候	曇りのち晴れ
コース状況	ドライ
気温	24℃ (スタート時)
路面温度	32℃ (スタート時)
決勝レース開始	13時40分 (正式スタート時刻 13時45分28秒)
レース予定走行距離	300 KM (正式フィニッシュ時刻 16時30分28秒)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&ロベルト選手)

決勝結果：12位 (所要時間：65周消化／ベストラップ：1分19秒184＝ロベルト選手)

決勝日となった9月21日は曇り空ながら決勝スタート前は気温24℃、路面温度32℃とレースには最適なコンディション。早朝から17500人も観衆がスポーツランドSUGOに詰めかけた。ウォームアップ走行でセットアップの最終確認を行なった6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは路面温度とタイヤのマッチングに一抹の不安を抱えながらスタートを迎えることとなった。

ウォームアップ走行で1台の車両がストップしてしまった為に赤旗が出され、回収に時間がかかったので、予定より10分遅れの13時40分に交通機動隊を先導としたパレードラップが始まり、続く1周のフォーメーションラップのあと、13時45分に正式なスタートが切られた。12番手からスタートした片山は好ダッシュを見せて1周目に1台のマシンをパスし、11番手で戻ってきた。その後もコンスタントに周回を重ねたが、混戦時のライン取りでタイヤにピックアップを拾ってしまったのか、ポジションを15番手までダウン。その後、タイヤのコンディションが戻り、次第にペースがあがり前方でのアクシデントもあって13番手まで浮上した際にFCYが出された。

片山は再スタート後も好走を続け、26周目には11番手まで浮上していたが、第3コーナーでアウト側から接触されスピン、ストップ。エンジンの再始動に約30秒かかってしまい、ポジションを大きくダウンしながらそのままピットに戻り、ドライバー交代を済ませた。

24番手でレースに復帰したロベルトは、新品タイヤを温めるとかなりのハイペースで前を行くマシンをパスし続け、40周目には21番手まで浮上。そのタイミングでFCYが出され、解除された途端、GT500車両とGT300車両2台、合計3台の大きなアクシデントによって赤旗が出され、レースが中断された。

レースは16時に再開され、16時30分終了と発表された。レース再開後のロベルトの追い上げはいつにも増して激しく、チェッカーを受けた段階では11番手まで浮上していた。しかしゴール後、オーバーテイク時の接触によるペナルティでレース結果に5秒加算とされ、正式結果発表時点では12位となった。

片山 義章 選手のコメント

予選、決勝を通じて厳しく、悔しいレースでした。予選では路面とタイヤのマッチングにセットアップを合わせ切れず、ハンドリングに悩まされました。決勝のスタートはまたしても上手く決まったのですが、序盤の路面温度と選んだタイヤのマッチングが悪かったのか、ペースが上がらず苦しい序盤の戦いを強いられてしまいました。それでもタイヤのフィーリングが戻ってからはトップグループと変わらぬペースで追いつけたのですが、第3コーナーで当てられてスピンしてしまい、システム作動上の問題でエンジンがなかなか再始動せず、大きくポジションを落としてしまいました。それでもロベルトが追いつけてくれて、11位でゴールできたのは良かったです。結果は12位でしたが、次のレースでリベンジを狙います。

ロベルト・メリ・ムンタン選手のコメント

フリー走行ではアンダーステアが強く出ていて、予選までにセットアップを変更したら片山選手のQ1でオーバーステアがひどく、再びセットアップを変更したのですが、今度はアンダーステアがひどい状況となってしまう、納得いくタイムが出せませんでした。決勝前のウォームアップ走行ではタイヤのコンディションが悪くて正確な判断ができかねましたが、決勝レースでのペースは悪くなかったと思います。レースですから仕方が無いですが、片山選手のスピンの原因を作ったドライバーへのペナルティは警告だけで、自分たちにはオーバーテイク時の接触で5秒加算のペナルティが課されたのは不満ではあります。ただ、今日のレースの自分自身のパフォーマンスには満足していますし、速いマシンを作ってくれたチームにはとても感謝しています。次戦オートポリスは、精一杯の走りで今季2勝目を狙うつもりで頑張ります。

小倉 啓悟 監督のコメント

今回はスタートからゴールまで、本当に大変なレースでした。タイヤが厳しくて決勝レース序盤のペースが無く、片山選手も苦戦していましたが、本来の性能が発揮できる状況になってからは、上位に比べても悪くないパフォーマンスだったと思います。後方から当てられてスピンしてしまった時には、ピットでは状況が把握できておらず、無線で指示することができないまま再スタートに戸惑ってしまったのが痛かったですね。タイミング的にはピット作業の予定周回数に近かったので、戦略的には大きな問題はなかったです。ロベルト選手は予想以上にハイペースで追いつけてくれて、最終的には予選結果よりもひとつ上の順位でチェッカーを受けてくれました。チームとしては良いデータが収集できたと思いますし、改良の余地がある部分も見えてきたのはプラスだと思います。次のレースの前にテストもありますし、万全の体制でオートポリスを迎えたと思います。応援ありがとうございました



UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ヒロ デンタル クリニック
Hiro Dental Clinic

ASAHI 朝日金属株式会社

CLIMAX
SOFT99 autoservice

KOHSHIN
DRIVING SCHOOL

TONE

zahren

SASAHARA

JOTO DIRECT

PANASHOP

ニチアス

DOBOT

osmo
development

見田工作

愛知電線 株式会社

Digi-Tec
INTECNO

EVER
CORPORATION

AOYAMA
ELEVATOR

MIDTOWN BBQ
STEAK & SMOKEHOUSE

HA
Human & ARMS

DAIWA

H&F

MAITY
SAFETY INSURANCE ENGINEERING SYSTEM

PACIFIC
RACING TEAM

岡田金
株式会社

株式会社
a1
買取協会

カトー機械株式会社

4EAST
www.kkeast.net

AOI
TRUST
C O., L T D.

VELOREX
Fueled by Ambition

Sponsor introduction

Team Le Mans